

当院ではAIによる検査アシスト機能を搭載した 世界初のIntelligent CT（128スライスCT）を導入しました



ドイツ Siemens Healthineers CT装置

- ✓ AIによる検査アシスト機能により一貫性のある検査の提供が可能になります
- ✓ 最大で半分の造影剤量が検査が可能になります
- ✓ 一般撮影と同等の被ばく線量で検査が可能になります
- ✓ Dual Energyイメージングにより新しい検査の提供が可能になります

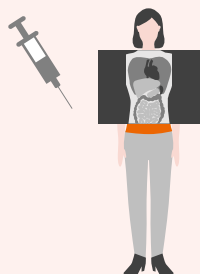
AIによる検査アシスト機能

天井に設置してあるAI技術を搭載した3Dカメラにより、寝台に寝ている患者様を装置が認識し、自動で適切な位置まで寝台を移動することが可能になります。自動ポジショニングにより、効率的に最適なポジショニングを行えます。



低侵襲なCT検査①

従来の装置と比較して造影剤の使用量が最大で50%低減^{*1}が可能になります。造影剤の使用量を減らすことで従来検査が難しかった被検者の検査を行うことや、副作用の軽減にもつながります。



最大 **50%** 低減^{*1}

^{*1}: 検査の内容・目的によっては適応できない場合もありますが、従来の装置と比べても少ない造影剤量で検査を受けていただけます。

低侵襲なCT検査②

新しい被ばく低減技術によりレントゲン検査と同等の被ばく線量^{*2}で検査を受けていただくことが可能になります。CT検査は情報量が多く、特に肺がん検診での有用性の報告が多数出てきています。また内耳・副鼻腔領域、整形領域などにおいても一般撮影と同等の線量で検査を受けていただくことが可能になります。



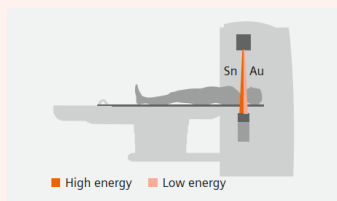
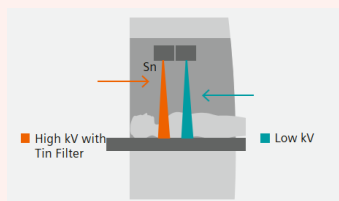
=



^{*2}: 検査の内容・目的によっては適応できない場合もありますが、従来の装置と比べても少ない被ばく線量で検査を受けていただけます。

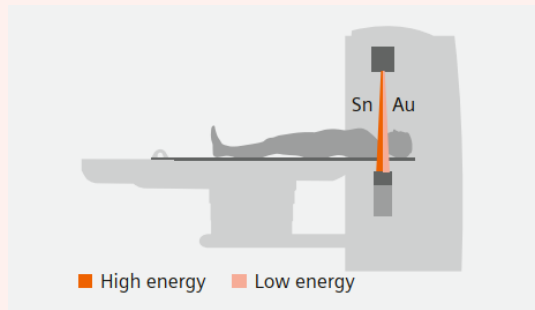
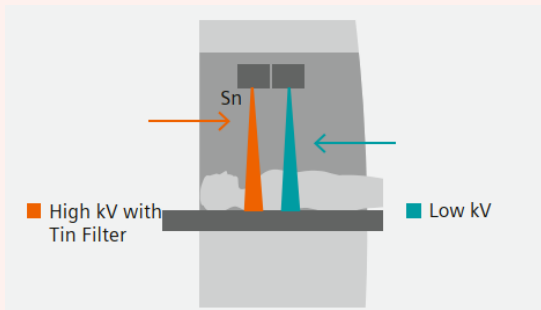
新しいCT検査

新しいDual Energyイメージングにより、これまで他のモダリティで追加検査が必要だった症例がCTで検査・診断が可能になります。



兵庫県初となるCT装置 新しいDual Energyイメージングによる可能性の広がり

新しいDual Energyイメージングにより、これまで他のモダリティで追加検査が必要だった症例がCTで検査・診断が可能になります。



腹部領域

腎結石の成分評価が可能

腎結石は、結石の主成分によって治療方針が異なります。これまでは結石の有無、形状評価は可能でしたが成分までは判断することは不可能でした。
しかし、Dual Energyイメージングで撮影することで結石に成分評価が可能となり、その後の治療方針判断に使用することができます。

整形外科領域

MR禁忌や体動のある患者への対応

【腰椎圧迫骨折】

DE Bone Marrowは、DECT画像から骨髄浮腫の有無を評価することができる。
検査時間も短いため体動による画質低下も少なく、新鮮骨折と陳旧性骨折の鑑別を簡便に行うことが可能である。
本症例では、DE Bone MarrowとMRIの異常所見は一致しており、DE Bone Marrowの正確性を表していると思われる。
DE Bone Marrowは整形外科からの評価も高く、椎体圧迫骨折の評価において、DECTが第一選択となっている。